

令和3年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
わいせつ・セクハラ行為の防止	職員間のコミュニケーションの適正化を図り、人権尊重意識を向上させる。	わいせつ・セクハラとは、どのような行為か。普段の言動や自分の行為について振り返り、日常の行動に反映させることができた。
体罰・不適切指導の防止	児童生徒の障害特性を踏まえ、適切な指導を行う。	児童生徒に対する発言や行動が、児童生徒の気持ちを傷つけることにつながりはしないか、不適切指導における認識のあまさはないか等を検証し意識を高めることができた。
服務規律の順守	教育公務員としての自覚と法令順守意識の向上を図る。	休暇や手当の取得に関する手続きの確認やコロナ感染症に関する服務について、不正受給等の対応が起きないように、職務の遂行の義務を確認し、意識を高めることができた。
個人情報・情報セキュリティ	情報セキュリティーポリシーを理解し、個人情報等の適正な管理を行う。	電子メールの送信先について、不祥事が起きないように、研修で確認を行った。日頃から情報漏洩等の不祥事を起こしてはいけないことを確認しながら職務を遂行している。
私費会計の取り扱い	私費会計基準による適正な会計管理の徹底を図る。	私費会計の扱いについて、公費に準じた適切な会計処理を行うこと確認し、自覚を持った取り扱いを行った。
職場のハラスメントの防止	適正なコミュニケーションによる人権意識の向上を図る。	パワーハラスメントについて、それぞれの職場での言動を振り返る機会を持った。パワーハラスメントが起きない職場への意識を高めることができた。
コンプライアンス意識の醸成	適正な業務執行体制を構築する	公務の内外を問わず、法令や職場のルール遵守の必要性について、また、年休等の申請について誤りが起きないように、責任ある行動を心がけることを確認した。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

※ 令和3年度は、毎月の不祥事防止に関する研修に加え、わいせつセクハラ研修、体罰・不適切な指導に関する研修を重点的に行った。職員全体に不祥事を防ぐという意識は高まっている。令和4年度は、児童生徒の障害特性を十分に理解し、不適切な指導が起きないようにすること、そのために、だれもが意見を言い合える職場環境であることにも意識をもって取り組む。